

平成22年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 | 2 | 6 | 0 | 4 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 研究期間 平成22年度～平成23年度
5. 課題番号 2 | 2 | 7 | 0 | 0 | 7 | 1 | 3
6. 研究課題名 日本における家庭用洗濯機の成立過程に関する研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 5 3 2 3 6 2	ハヤシバラ 林原泰子	家政学部	助教

8. 研究分担者（所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。）

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
.....
.....
.....
.....
.....
.....

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的な内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

アメリカコロラド州のウォッキングマシーンミュージアム実地調査を本年度の最優先課題とし、8月に実現した。同時にテキサス州ミネラルウェルズのウォッキングマシーンミュージアムおよび同州ライジングスターのヒストリカルミュージアム調査を行い、アメリカにおける家庭用電気洗濯機（以下、洗濯機）に関する資料収集を行った。

一連の調査で、大正から昭和初期にかけて日本に輸入されていたものと同型の洗濯機を複数確認し、写真撮影による記録を行った。今回の調査において実機を確認した経験をもとに、今後国内に死蔵されている可能性のある輸入機ならびに初期国産機の探索を行いたい。また、アメリカコロラド州のウォッキングマシーンミュージアム調査において、国産第1号撹拌式洗濯機「Solar」の原型とされる「Thor」を発見した。同機はレストアされる前の段階で保管庫に収蔵されており、同館のデータベースには未掲載である。これまでの研究では「Thor」について、製造元を含めその詳細が不明とされていた。今回の発見により「Thor」がGE社製のモータを搭載しており、そのことを示すラベルが添付されていたことが確認された。また、外観やロゴ、槽内形状等についても撮影を行っており、これらは、他の写真資料や図面等と比較を行うことで、今後国産機「Solar」の成立について考察を行う際の重要な資料となることが期待される。

当初、平成22年度の研究実施計画には国内におけるアンケート調査を含んでいた。しかしながら、海外調査準備が予想以上に煩雑となり、また金銭的にも予算を超える状況となつたため当該年度中の実施は断念し、翌年以降での実施を目指すこととする。

10. キーワード

- | | | |
|---------|----------|----------|
| (1) 洗濯機 | (2) デザイン | (3) 生活文化 |
| (4) 生活史 | (5) | (6) |
| (7) | (8) | (裏面に続く) |